

会計様式第 1

支 出 伝 票

会派名	代表者	経理責任者	会計年度	整理番号																				
大山氏 977	大塚篤敬	柴田浩行	令和 3年度	1																				
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input type="checkbox"/> 6 会 議 費 <input type="checkbox"/> 2 研究研修費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成費 <input checked="" type="checkbox"/> 3 広 報 費 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費 <input type="checkbox"/> 4 広 聴 費 <input type="checkbox"/> 9 人 件 費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 10 事 務 所 費			令和 4 年 0 月 29 日																				
支 払 金 額	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>金 額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </table> 円				金 額													1	7	6	0	0	6	
金 額																								
			1	7	6	0	0	6																
使 途 内 容																								

《領収書添付欄》

印刷代	25,906
配布代	140,400
	176,306

犬山市民クラブ 御中

株式会社
ラクスル〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥35,906-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
220322522438-01	(犬山市民クラブ新聞 vol.13) チラシ・フライヤー,A4,両面カラー,光沢紙(コート),標準:90kg	21,000部	2022年 3月26日	¥32,642

注文内容:	商品:	¥32,642
注文合計:		¥32,642
消費税:		¥3,264
ご請求合計金額:		¥35,906

お支払い方法: コンビニ支払い



大山駅東店
愛知県犬山市中山町二丁目53番

電話：0568-63-5502

2022年 3月22日 (火) 21:01
領 書 責No.100

お客様情報： [Redacted]

お名前： [Redacted]

電話番号： [Redacted]

サービス提供企業名称： [Redacted]

(収納代行) GMOペイメントゲートウェイ

受領日時： 2022年 3月22日 (火) 21:01

お問い合わせ用コード： [Redacted]

管理番号： [Redacted]

商品情報： [Redacted]

収納票発行 合計

ご利用ありがとうございました

¥35,906

ラクスル株式会社

お問い合わせ先

ラクスル株式会社

電話 03-4577-9200

受付時間 09:00-22:00

領 収 証

犬山市民クラブ

様 No. 0351

★ ¥140,400-

但 ショッピング代

令和4年3月29日

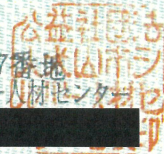
上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

取 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

犬山市松本町二丁目7番地
公益社団法人 犬山市シルバー人材センター
会 長 [Redacted]



犬山市議会 犬山市民クラブ 新聞 vol.13

犬山市民クラブは、「現場主義」と「行動力」をモットーに議員活動を行っている会派＝政策集団です。私たち3人は、11年前の会派結成時から、身の回りの小さな改善の積み重ねを大切にしています。一方、全市民的な視点を持ってまちづくりを考えています。市議会での議論はもちろんのこと、日頃からの政務活動こそ地方政治の根幹であると信念を持って行動しています。令和3年度の私たちの活動をご報告いたします。



まさひと
藤川政人 参議院議員

よしのぶ
原欣伸 県議会議員

きぶん
中村 貴文

しばたひろゆき

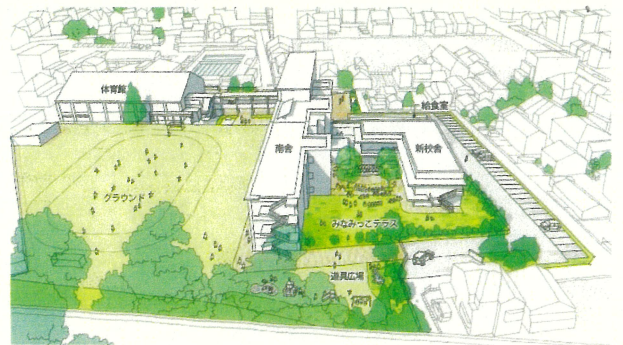
大沢ひでのり

犬山市民クラブは子育てと教育の環境整備の提案をつづけています。

小中学校施設の計画的な大規模改修を提案しています。

犬山南小の改築工事が始まります。北舎と給食室は建て替え、中庭と共に整備を行います。また、南舎は長寿命化改良し、学校全体の機能を改善し、よりよい環境整備を図ります。工事車両専用道路を県道27号線(旧41号)から暫定的に整備します。

犬山南小の改修を進めながら、城東小と城東中を一体とした大規模改修の検討をスタートさせます。城東地区の特性を考慮した学校づくりを行います。



犬山市民クラブは地域資源を活用した提案をつづけています。

「道路等公共物の活用」市道などを活用した新たな財源確保の拡充を！と提案しています。

(犬山市の取り組み) 犬山駅東のからくり時計前の敷地を「犬山駅東からくり広場」として整備をし、キッチンカーなどへのスペース貸し事業を実施します。

「国宝犬山城を世界遺産に」犬山市のランドマークであり、市民の誇りでもある国宝犬山城の世界遺産登録に向け、新たな取り組みを展開すべき！と提案しています。

(犬山市の取り組み) 松本市、松江市、犬山市で「近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会」を組織して調査研究を行っています。

「木曾川犬山鵜飼の保存・伝承」木曾川犬山鵜飼の1300年もの伝統を次世代に引き継ぐためにも、愛知県の無形文化財指定を受けるべき！

(犬山市の取り組み) 木曾川犬山鵜飼の文化財としての価値の向上を目指します。また、後継者の育成も課題です。



犬山市民クラブの提言 コロナ後を見据えた新たなまちづくり

「橋爪・五郎丸地区の新しいまちづくり“犬山セントラル構想”について」

市街化調整区域・農業振興地域として厳しい規制がかかるこの地域を「道の駅」を起爆剤に今後の展開を図れるよう、調査・研究し、提案しています。私たちが提案しているのは、単に道の駅を整備することが目的ではありません。市のほぼ中心部であるこの位置に新たなまちづくりを仕掛けることで、犬山市の活性化を図っていきます。これまで幾度も市内の土地利用を阻んできた規制を突破するには、この方法しかありません。市が先導する形で、このエリアのインフラを整備し、道の駅の設置をまちづくりの突破口と位置づけ、五郎丸駅の復活をゴールとする中長期構想の実現に向け、最善を尽くしてまいります。この機会を逸してしまえば、おそらくこの先 20 年以上、犬山市の市街化調整区域が大きく変貌する機会はないでしょう。



道の駅には、防災拠点としての役割も担わせます。重要な幹線に位置する道の駅ですから、その立地を生かして、いざという時に備える施設となるよう、提言していきます。また、子育て支援の拠点を道の駅にあわせて提案します。遊具が豊富な屋内遊戯施設や公園など、魅力的な環境が整っている施設を犬山市につくるために、努力していきます！



市の未来のため 可能性のトピラを開くための政策提案を行っています。

「幹線道路沿いについて、店舗の進出が繋がって活性化を生むまちづくりについて」幹線道路の活性化は、犬山市の重要なテーマです。沿道サービスの出店が続いている一宮犬山線につづき、国道 41 号から観光施設へつながる幹線には、観光客が利用できる店舗等の出店を促し、市民にも利用していただくことで地域の活性化につなげていくよう、行政とともに研究を進め、提案しています。



「市東部の地域コミュニティ維持・再生のためのまちづくりについて」

市街化調整区域の開発行為に係る許可基準を緩和する条例の必要性を提案してきました。「都市計画法に基づく開発行為等の許可」について、犬山市が事務処理市となった利点を生かして、市独自の判断で規制緩和するために条例を改正しました。準地区拠点である富岡前駅を中心とした既存集落の維持・再生を進めます。

国や県とのパイプを活用した財源確保で市民のための市政を目指します。

市民の生命と財産を守るため、災害対応特殊はしご付消防自動車を更新しました。(前回の更新から 25 年(国の基準では 17 年で更新)) 消防特殊車両はたいへん高額です。購入金額 2 億 735 万円のうち国からの補助金交付額 7,522 万円(補助基準額の 1/2)を受けました。犬山市民クラブは、国や県への陳情活動をつづけています。



新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、犬山市民クラブでは、令和 2 年度、3 年度のプレミアム商品券事業を提案し、実現させてきました。市ではさらに令和 4 年中旬以降に、同事業を実施します。市民への生活支援、市内消費の拡大を少しでも支えていきます。国の臨時交付金と県の補助金を有効に活用します。

